

六甲高山植物園 シーボルトが紹介した幻のアジサイ シチダンカ見頃 & アジサイ園期間限定公開中！

六甲山観光株式会社(本社: 神戸市 社長: 寺西公彦)が六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では、かつて幻のアジサイと言われた「シチダンカ」が見頃を迎えています。

シチダンカは「ヤマアジサイ」の変種で、飾り花が八重咲になるのが特徴です。十数枚の萼片が星型になり重なりあいます。また、アジサイ園にはシチダンカの他にも多種多様なアジサイを植栽しており、期間限定で公開しております。人気朝ドラマの主人公のモデルである牧野富太郎博士が開園当初に来園した様子の写真や直筆の書・手紙、図、書籍などを約200点展示している、【六甲山ボタニカルフェア】六甲高山植物園開園 90 周年特別企画「牧野の足あと〜神戸で見つける博士と植物〜」も8月15日(火)まで会期を延長して、好評開催中です。



◆シチダンカ(アジサイ科) *Hortensia serrate var. serrata f. prolifera*

高さ1m～1.5mの落葉低木。江戸時代、シーボルトの「日本植物誌」に紹介されましたが、以後発見されず存在が疑問視されていました。その後、1959年に六甲山で偶然にも発見され、以後挿し木で増やされた苗が各地に広がりました。アジサイの山と言われる六甲山系のアジサイは、花崗岩からなる酸性土壌と湿潤な天候の影響で、美しい六甲ブルーに色づくことが特徴。7月中旬頃まで見頃です。

◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園 TEL: 078-891-1247 / FAX: 078-891-0137
住所: 〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】～11月23日(木・祝) 【休園日】6月29日(木)、7月6日(木)、13日(木)
【開園時間】10:00～17:00
【入園料】大人(中学生以上)900円／小人(4歳～小学生)450円 【駐車場】1,000円

多種多様なアジサイが咲き誇る「アジサイ園」も見頃に

アジサイ園が今年も見頃を迎えました。人気のある「シチダンカ」や「ヒメアジサイ」の他にも、多数のアジサイを楽しむことが出来ます。アジサイ園の中央には広場もあり、六甲ブルーのヒメアジサイに囲まれます。期間限定のアジサイ園では、多数のヤマアジサイの品種をお楽しみいただけます。

<六甲高山植物園 人気のアジサイ>

◆ヒメアジサイ<アジサイ科>【花期】6月～7月

Hortensia cuspidata f. cuspidata

別名は「ニワアジサイ」とも言われています。ホンアジサイに並ぶ代表的な手鞠型アジサイで、昭和4年に牧野富太郎博士によって命名されました。ホンアジサイとともに日本の固有二大アジサイです。六甲山のヒメアジサイはその鮮やかな青色が「六甲ブルー」と呼ばれ、神戸市の市花にもなっています。



ヒメアジサイ

◆アマギアマチャ<アジサイ科>【花期】6月～7月

Hortensia serrata var. angustata

葉の長さは10cm以下で細くなり、甘みが強いのが特徴です。昔から甘茶は甘味料として用いられる以外に、防腐効果があることから醤油の製造に使用され、表面に張るカビ状の膜を防止するためにも用いられました。また、口中清涼剤や歯磨きの甘味のため、種々の家庭薬に配合されたり、民間ではダイコンの漬物に甘味と醗酵を押さえるために利用されたりしています。



アマギアマチャ

◆ヤマアジサイ<アジサイ科>【花期】6月～7月

Hortensia serrata

山の沢筋などに生えるため、「サワアジサイ」とも呼ばれます。落葉低木で高さは1メートルほどです。葉はやや薄く、表面にはつやがなく、先が長くとがっているのが特徴です。花の中心部には多数の両性花が集まり、その周囲に径2～3cmの飾り花を散らします。ヤマアジサイの品種‘七変化’、‘星の雫’、‘伊予獅子手毬’、‘海峡’など多数の品種もお楽しみいただけます。



ヤマアジサイ

◆タマアジサイ<アジサイ科>【花期】8月

Platycrater involucrata

関東地方～岐阜県あたりに分布し、山地に自生します。湿度の高い山間部に咲き、葉の表面には固い毛が密生し、ざらついています。径3～3.5cmの大きなピンポン玉のようなつぼみから、この名前がつけました。戦時中はタバコに代用されたため「ヤマタバコ」という別名もあります。



タマアジサイ